

諏訪神仏プロジェクト／賛助会ご協力のお願い

諏訪神仏プロジェクトとは

明治初年の神仏判然令をきっかけに、諏訪大社上社・下社にあった神宮寺は、すべて破却されてしまいました。しかし、貴重な仏像の数々は、諏訪地域の十数カ所の寺院などに引き取られ、今日まで大切に守り続けられてきました。このプロジェクトは、今年10月～11月のカ月間、各寺社がそれらを150年ぶりに一斉公開し、千年続いていた神仏習合の諏訪信仰を振り返るとともに、衰退が続く地域の文化・観光の再活性化を図ろうとするものです。また公開に先駆けて、県内第一線の専門家による調査・撮影記録を行っており、図録・報告書を出版するとともに、引き続き仏像・文化財の保護・活用を支援していこうと考えています。

【プロジェクト公式サイト】 <https://suwa-tabu.jp/suwa-shinbutsupj/>

神仏プロジェクト賛助会とは

幸いなことに当プロジェクトは、諏訪大社を含む25寺社と諏訪市博物館、下諏訪町立諏訪湖博物館の参加を得、望外の規模に膨らみました。そして一斉公開の前後には、十数カ寺の住職が一斉に神前読経を行う歴史的な行事「奉告祭」が、諏訪大社の正式神事として行われます。また、地元LCVによる13回にわたる告知番組の放送も始まっています。このため、諏訪在住の同窓生を核とするプロジェクトメンバーが手弁当で始めたこの事業も、資金的に完全に手に余るものになりました。そこで、佐久秀幸長野日報会長と今井誠諏訪信用金庫会長を中心に賛助会が発足し、地元檀家衆や崇敬者をはじめ、広くご賛助をお願いしているものです。

【賛助会公式サイト】 <https://8katte.com/suwa-shinbutsupj/>

賛助会ご協力のお願い

去る8月23日にオンラインで開催された第191回清陵勉強会においては、講師・宮坂宥憲氏（106回生：岡谷照光寺僧侶）に、神仏習合時代の諏訪信仰と当プロジェクトについてご講演いただきました。フリーランナー／クリエイターである小生は、現在プロジェクトの企画委員として、ガイドマップ、ガイドブック、告知番組の制作に没頭しております。東京清陵会会員の皆様におかれましては、諏訪にとってばかりでなく、全国的にも歴史的な出来事である本プロジェクトにぜひご参加・ご賛助いただきたく、心からお願い申し上げます。

【諏訪観光連盟「諏訪信仰と観光フォーラム」】 <https://www.youtube.com/watch?v=Oh4CxwsCZk0>